

Fun = 楽しい

自分たちが笑顔で働き、日々新しいことにチャレンジしている社員の姿、イキイキ楽しんでいる広研印刷を知って頂きたく、CI委員会ではブログと、このPR誌、『FUN』を通して情報発信しています。

楽しい企画を創造するには、まず自らが楽しくなければ、お客様を楽しませることもできません。『楽しい』は価値であり、価値を生む原動力でもあります。『楽しい』から生まれる創造にご期待ください。
『お得意様に安心と満足をお約束し感動をお届けする』

ことを目指します』広研印刷の経営理念です。スポーツ選手でも芸術家でもない私たちがお客様に感動していただけるにはどうしたらいいのか私達は日々考え行動し、新しい感動を創造していきます。
CI委員会

Corporate identity

FUN

Corporate identity

ISSUE No

09

昨年 12 月に開催された絵本イベント「やってみようえほん展」。

前回、イベントレポートを CI 部員の辻さんご紹介させて頂きましたが、実は 12 月に開催したイベントでは、新しい試みとして Panasonic 様とのコラボキャンペーンを開催しました！

SNS キャンペーンと絡めて、なんとヒーローショーをやってみちゃいました。

なぜ、印刷会社でヒーローショー？？と気になる方もいると思いますので、ご紹介したいと思います！

ヒーローショー企画のきっかけ

以前から Panasonic 様から協賛として、キッズデザイン賞を受賞している「ストロングテンテ」という耐切創軍手をご提供いただいております、ワークショップの中で子どもたちの手の怪我を防止する目的で活用していました。

ストロングテンテには、電球のフィラメントを作る技術を応用したタングステンの繊維が編み込まれているため、作業中の切創を防ぐことができます。金属が編み込まれているのに、女性やお子さまでも使いやすいしなやかな素材でビックリ！

12 月のイベントにもご協力のお声がけをさせていただいたところ、ストロングテンテの認知拡大のためのプロモーションをしたいとご相談があり、ストロングテンテと本イベントのターゲット層が合致していることから、コラボ企画を実施することになりました。

「やってみようえほん展」とのコラボならではのプロモーションとして、印刷会社の独自の体験を子どもたちと「共有できること」に焦点を当て企画を考え。ストロングテンテの「切創を防ぐことのできる軍手」という特徴が、印刷現場でよくある“手を切ってしまう問題”とうまくマッチングしていることを発見！印刷の紙入れの工程で行う「紙さばき」をワークショップの中に組み込み、体験ができ、子どもたちに親しみやすいストーリー性のある企画として、「ヒーローショー」という形をご提案しました。



ストロングテンテ



Panasonic 様と初のコラボキャンペーン企画をやってみました！ ～「ストロングテンテマン」と“紙技”チャレンジキャンペーン～

イベント当日の様子

3 日間のイベントのうち 2 日目の土曜日のみ、1 時間に 1 回ストロングテンテマンショーを開催。初の試みだったので、不安もありスタッフ全員が何度も集まり、ショーの手順や子どもたちに向けた発声の仕方など綿密なりハースルを行いました。準備期間中、えほんイベントをまとめているえほん部長が体調不良になるというハプニングも乗り越え…迎えた当日は、ちゃんと子どもたちに楽しんでもらえるかドキドキ！「紙さばきがうまくできない、指を切ってしまうて困ったなあ…、そんなときは、ストロングテンテマンを呼ぼう！せ～のっ！」（えほん部長の演技力は必見の価値。今後も出番があるかも…?!）

さあ！ストロングテンテをつけたヒーローが登場です！（ストロングテンテマンは、印刷工場の紙さばきの達人がやってくれました！）誰もが小さい頃に一度は見たことがある王道展開です。なぜかストロングテンテマンは「カミカミ～」としか話せない謎設定がありました（笑）



カミカミ～と言って登場するストロングテンテマン

興味津々な子どもたちの前で、ストロングテンテマンが巨大な紙で「紙さばき～紙入れ」を披露。「紙さばき」の達人が魅せる神技ならぬ“紙技”に、子ども

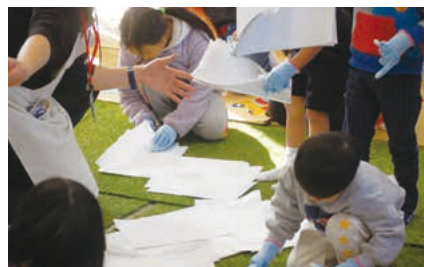
たちだけでなくお父さんお母さんも釘付け！そんな“紙技”を見た後に、ストロングテンテマンからストロングテンテをプレゼント。と思ったら、せっかく積んだ紙の山を崩してしまい、子どもたちに協力してもらってストロングテンテマンと一緒に紙入れを体験というなかなか壮大なストーリーに Panasonic 様にも大変喜んで頂きました！



紙さばきを披露するストロングテンテマン



子ども達にストロングテンテをプレゼントしている様子



紙さばきに挑戦する子ども達

目で見て、実際にやってみて学ぶという体験が、ストロングテンテと結びついたことで、ストロングテンテをはめたまは

しゃいである子や「お母さんにプレゼントするんだ！」と言っている子がいたり、「ただもらっただけ」ではない体験価値を共有できたのではないかと思います。

イベントの来場者数は 440 人。うち大人は 235 人、子どもたちは 205 人と過去最多の人数となりました！

SNS では、「大きくなったらストロングテンテマンになりたい！」「軍手マン気に入り帰宅してからも軍手をつけて遊んでいます♪」という好評の声をたくさん頂きました！

実際に体験できるヒーローショーの企画だったことで、SNS フォロワー数などの数字以上に「深度のあるファン」を作ることができたと思っています。

改めて、今回のイベントに参加していただいた皆様、プロモーションのご相談をいただいた Panasonic 様ありがとうございました！今後も楽しいえほんイベントをお届けできるように頑張っていきますので、どうぞお楽しみに！



ヒーローショー企画の詳細はこちらから
ご覧いただけます！





2025 年 1 月より、プロモーション事業部が新設しました！新オフィスができるまでの道のりとメンバーである小川部長へのインタビューを通してご紹介します。

新事業部の拠点づくり！ 別館 3 階のリフォーム

フィルム保管室として使われていた別館 3 階を新部署の拠点にする事に。今まで別館 3 階は昔の印刷工程で必要だったフィルムの保管室として使われていたため、ものすごい量のフィルムとそれらを保管するための棚があり、社員総出で撤収作業を行いました。エレベータがなく、階段も狭いため、一つ一つ棚を解体しながら外へ運んでいきました。

刷版はもう 1 つ保管室として使われている別館 4 階へバケツ運び方式で移動させたり、不要になったフィルムは外へ運び出したり…数日間かかる大掛かりな撤収作業となりました。

まささらになった 3 階は業者による内装工事が約 2 週間行われ、お洒落なオフィスに生まれ変わりました！



撤収作業の様子

プロモーション事業部のメンバーに インタビューしてみました！

クロヒョウ：どんな事業部なのか教えてくださいませんか？

小川部長（以下、小川）：絵本イベント「やってみようえほん展」の実績を土台としつつ、そこから得られた知見やノウハウを活かし、より幅広い領域でのサービス展開を視野に入れています。現在、注力しているのは、「つくる」体験を通して「しくみ」を「まなぶ」ことができるワークショップですが、今後はこのコンセプトを様々なテーマやターゲット層に応用していくことも検討しています。絵本という枠にとらわれず、体験を通じて学びや気づきを提供するプロモーションを多



角的に展開していきたいですね。

クロヒョウ：現状 3 名で少数精鋭で活動されているそうですが、今後はメンバーが増えていくことも考えていますか？

小川：そうですね、今は、営業本部や広報技術研究所のみなさんと、それぞれの強みを活かしながら連携し、楽しく仕事を進めていくことが、何よりも大切だと考えています。コミュニケーションを高めて、より大きな成果を生みだしていきたいですね。もちろん、今後事業が拡大していく中で、新しいメンバーが必要になる時がくると思っています。新しい視点や発想が加わることで、これまでになかった面白い企画や、より効果的なプロモーションに挑戦していきたいですね。

クロヒョウ：私も広報技術研究所のメンバーとして、なにかお力になれば嬉しいです！ちなみに私も同じ建物の 2 階でお仕事をさせて頂いてまして、先日チラッと部署を拝見したのですが、全体の配色や家具がお洒落すぎて（汗）部屋のデザインはメンバーで決めたのですか？

小川：お洒落と言っていただけで嬉しい

です。S 部長が基本的なデザインの方向性を示してくれて、それに意見や要望を伝えながら、今の素敵な空間になったんですよ。

クロヒョウ：さすが S 部長ですね！では、最後に今後の意気込みを！

小川：「プロモーション」という変化の多い分野で、新しいトレンドや技術を楽しみながら学び、柔軟に対応していきたいですね。これから課題も沢山出てくると思いますが、前向きに楽しみながら挑戦し、活気あふれる部署にしていきたいですね。

クロヒョウ：今後の活動を陰ながら応援しております！ありがとうございました。



今年も東京ビッグサイトで開催された『JKC サクラ・アニュアル・ショー 2025 / ロイヤルカナン・カップ 2025』に行ってきました！

あいにくの雨模様でしたが、駅からビッグサイトに向かうたくさんの人がいました。受付をしてから会場内へ突入。



ペット連れで来場されたお客様の多くが、撮影コーナーで愛犬の写真を撮っていました。みんなお利口に台座に乗っていて可愛かったです。

会場の随所に来場者を飽きさせない工夫がありとても参考になりました。

次はおえかきコーナーに。来場者が自由に絵を描けるブースの他、写真展示や犬の絵コンクール作品を見てまわり、人間にとって、わんちゃんはかけがえのない友であることを再認識しました。

ちなみに私は、いつかコーギーを飼うと心に決めています。

インスタグラムのフォロー画面を見せるとプレゼントくじを引けるブースを発見。早速インスタのフォローし、そしてくじ！引いたのは、JKC オリジナルマスキングテープでした。これはアタリ



ではないでしょうか！！会社用マスキングテープのお仲間ができました。来年もあったらぜひ会社の皆さんにもおすすめしたいです。

トリミングの見学もしました。トリマーの皆さん真剣な面持ちでカットしていて緊張感が伝わってきます。こうしたトリミング技術を間近で見れるのもイベントの魅力の一つだと感じました。



その他にもドッグショーでは、わんちゃんたちが歩いている姿も見れました。かわいい。たくさんの人が周りで見ている、堂々としているわんちゃん達の姿は本当にすごいです。私は緊張しがちなので見習いたいと思いながら、会場を後にしました。



昨年 11 月に行われた子ども向けワークショップイベント「としまっ子フェス 2024」について、当日の様子や結果を振り返るミーティングが開催されたので、同席してお話を聞かせていただきました。

主催の豊島区様、JimoKids 様、協賛参加企業の方々に弊社フリースペースの BABA BASE にお集まりいただき、動画や報告書を共有しながら、来年度の開催に向けて意見交換を行いました。

当日の様子を素敵にまとめた動画を見せていただきました！



続けて、資料を見ながら当日の来場者数や掲載されたメディア、来場者アンケートの回答などを共有し、意見交換を行いました。運営面での課題など次回に活かすべきところもきちんとおさえつ

つ、このイベントが「としま文化の日」の文化的活動の一端として、参加者・出展者双方にとって有意義なものとなったことを確認できました。



弊社も協賛として参加したことで認知度が向上し、12 月の自社イベントの参加者数が過去最高になったことを報告させていただきました。お集まりくださった皆様、ありがとうございました。また機会があれば BABA BASE の活用事例をご紹介します！

当日の様子はこちら！▶
子ども向けワークショップイベント【としまっ子フェス 2024】にやってみようえほん展が協賛出展してきました！

